

Seminario médico “Meets JAPAN”



Medical Excellence JAPAN (MEJ) は、日本政府と連携して「日本の医療の国際展開」を推進しています。2016年9月、キューバと日本の首脳会談で日本側より、「キューバ・日本医療センター」の設立、両国の医療技術の融合を図ることが伝達されました。MEJは、その実現に向けた調査を行っています。

調査の一環として、4月24日（火）、“Hermanos Ameijeiras”病院（ハバナ）において、日本の医療の認知度向上を目指し、医療セミナー“Meets JAPAN”を開催しました。

開会の辞において、小松MEJ副理事長は、“Meets JAPAN”には、両国の医療者が相互に特徴ある医療サービスを知り、良いところを学び、新たな医療サービスを産み出して、世界に貢献して行くという思いを込めています。“Meets JAPAN”の価値を世界に向けて発信し、貢献して行きましようと呼びかけました。



来賓挨拶において、渡邊駐キューバ日本国大使は、日本の無償資金協力により主要病院における医療サービス改善のための医療機器の設置プロジェクトが進んでいる。“Hermanos Ameijeiras”病院にも日本の医療機器が備えられることは喜ばしい。2018年は日本人キューバ移住120周年にあたり、この医療セミナーも記念イベントの一つ。これが、日本とキューバの関係を築き上げていくベースになると挨拶されました。

講演では、日本の専門医から日本における消化器系のがん、肺がん、心血管疾患の診療について紹介し、参加した医師と相互に情報交換しました。

講演内容： 相川 直樹 MEJ理事「日本の医療サービスの国際展開の促進」、東邦大学医療センター大森病院 五十嵐 良典 教授「内視鏡超音波検査及び管内超音波検査を用いたVater膨大部の脈管内腫瘍の術中術前術評価」、国立がん研究センター中央病院 曾根美雪 医長「日本における肝胆道がん及び膵臓がんに対するイメージング及び画像下治療（IVR）」、聖路加国際病院 新沼 廣幸 医長「日本における心血管疾患の現状」、神戸大学 大野 良治 特命教授「全身イメージングCTの現在の診療と今後の方向性」

